

令和3年度(2021年度)

管理事業名	シティプロモーション事業			総合計画の体系	大綱 7 都市魅力 政策 3 市民が愛着をもてるまちづくり 施策 1 魅力の向上と発信
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 7	商工費	(項) 1	商工費 (目) 2 商工振興費
部局名	都市魅力部	予算執行所属	シティプロモーション推進室		
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)総務費(項)総務管理費(目)シティプロモーション費 シティプロモーション事業 ほか				
事業の目的と概要 【目的】 全国的に人口減少・少子高齢化が進む中で、本市が持続的に発展するために、本市が持つ魅力を積極的に発掘・発信し、市民にとって「住み続けたい」「離れても戻りたい」といった市への愛着や誇りが醸成される取組を実施します。 【概要】 ・シティプロモーション事業(市民の市への愛着や誇りが醸成される取組の実施、本市で開催の唯一の全国規模ドキュメンタリー映像祭典「地方の時代」映像祭の支援)・観光振興事業(すいたフェスタ実行委員会へ運営事業補助金交付、吹田市情報発信プラザ(Inforestすいた)の企画・運営、地域の特性を生かした観光施策の実施 など) ・市制施行80周年記念事業(令和2年度に終了した記念事業の記録冊子の作成) ・シティプロモーション促進補助金(市ならではの魅力向上につながるイベントへの補助金交付) ・市内の5つの大学および大学教育機能をもつ研究機関、市外の1つの大学と連携を図ることで、各機関が有する豊富な知的財産、人材、情報、施設などをまちづくりの各般で生かし、双方の発展に寄与する取組を進める。					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
SNSによる情報発信回数	回	374	391	485	①すいたんSNS(Twitter・Facebook)及び②市公式Instagram発信回数 目標件数:①市役所開庁日毎日発信、②週2回(火、金)
SNSの登録者数	人	16,119	17,439	18,457	①すいたんSNS(Twitter・Facebook)及び②市公式Instagramの登録者数
情報発信プラザ物販売上げ額	円	5,692,269	3,432,950	2,802,654	情報発信プラザ(Inforestすいた)で販売するシティプロモーショングッズや吹田市関連商品の売上げ額。
吹田市ファンクラブ会員数	人	-	-	852	Inforestすいた公式LINE登録者数(令和4年3月17日開設)
成果の説明	・各SNSの情報発信目標件数については、すべてのSNSにおいて目標達成し、また、令和4年3月末時点でのフォロワー数についても前年度に比べ増加しています。 ・シティプロモーショングッズの売上げは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりイベント出店等が制限されるなどのため減少しましたが、郵送販売手続きの電子化やキャッシュレス決済(PayPay払)の導入など、販売機会の拡大に努めています。 ・吹田市情報発信プラザ(Inforestすいた)については、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や営業時間の短縮、リニューアル工事に伴う休業などの影響により、売上げが減少しました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	6,510	6,510
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	3,231	2,117	1,538	△579
経常収入 小計(a)	3,231	2,117	8,048	5,931
給与関係費	110,230	93,923	100,600	6,676
物件費	37,218	30,056	39,504	9,448
維持補修費	39	17	5,501	5,485
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	34,671	23,995	15,214	△8,781
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	1,032	1,032	1,032	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	8,646	7,559	6,983	△576
退職手当引当金繰入額	15,951	△7,593	9,541	17,134
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	207,786	148,989	178,375	29,386
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△204,556	△146,872	△170,327	△23,455
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△204,556	△146,872	△170,327	△23,455
一般財源充当額	193,744	161,189	166,339	5,150
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△10,812	14,316	△3,988	△18,304

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	主な増額理由は、令和2年度に、新型コロナウイルス感染症の影響のため事業縮小の伴う職員の他事業への兼務などのため一時的に減少していた人件費が、事業再開に伴い平時並みに回復したことによるものです。
物件費	主な増額理由は、吹田市情報発信プラザ(Inforestすいた)運営委託事業者の変更に伴い、委託内容等の変更を行ったことに伴う支出増によるものです。
負担金・補助金・交付金等	主な減額理由は、令和2年度で市制施行80周年記念事業が終了したことによる吹田市市制施行80周年記念事業補助金の廃止によるものです。

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	3,231	2,117	8,048	5,931
行政サービス活動支出	196,974	163,305	174,387	11,081
行政サービス活動収支差額	△193,744	△161,189	△166,339	△5,150
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△193,744	△161,189	△166,339	△5,150
一般財源充当額	193,744	161,189	166,339	5,150
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	特徴的な事項
行政サービス活動収入	行政サービス活動収入が大幅に増額している理由は、吹田にぎわい観光協会が解散したことに伴う残余財産の寄附(6,510千円)があったことによるものです。

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	令和元年度	373,987人	556円	新型コロナウイルス感染症の影響により、縮小していた各種取組を順次再開していったため、経常経費が全体的に増加したことや、魅力発信強化のため吹田市情報発信プラザ(Inforestすいた)のリニューアルに必要な経費を支出したことにより、市民1人あたりのコストは増加しました。
	令和2年度	376,944人	395円	
	令和3年度	378,781人	471円	
情報発信プラザ(Inforestすいた)来訪者一人あたり	令和元年度	270,037人	94円	吹田市情報発信プラザ(Inforestすいた)に係る費用(38,871千円)を実績で割って算出。緊急事態宣言やリニューアルに伴う休業・短時営業により未だ来訪者数が回復していないこと、リニューアルに伴う経費(負担金・修繕料)を支出したため一人あたりのコストは増加しました。
	令和2年度	151,164人	161円	
	令和3年度	174,134人	223円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	
流動資産	現金預金	-	-	-	流動負債	7,559	6,983	△576	
	未収金	-	-	-	地方債	-	-	-	
	財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-	
	短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	7,559	6,983	△576	
	徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-	
	その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-	
事業用資産	有形固定資産	4,731	3,699	△1,032	固定負債	67,728	71,260	3,532	
	土地	-	-	-	地方債	-	-	-	
	建物・工作物	4,731	3,699	△1,032	長期借入金	-	-	-	
	リース資産	-	-	-	退職手当引当金	67,728	71,260	3,532	
	建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-	
	無形固定資産	200	200	-	その他固定負債	-	-	-	
	固定資産	有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	75,288	78,244	2,956
		土地	-	-	-	純資産	△70,357	△74,345	△3,988
		建物・工作物	-	-	-	純資産の部合計	△70,357	△74,345	△3,988
		建設仮勘定	-	-	-				
重要物品		-	-	-					
図書館資料		-	-	-					
投資その他の資産		-	-	-					
出資金		-	-	-					
長期貸付金		-	-	-					
基金		-	-	-					
徴収不能引当金	-	-	-						
その他債権	-	-	-						
資産の部合計	4,931	3,899	△1,032	負債及び純資産の部合計	4,931	3,899	△1,032		

Ⅲ 財務構造分析

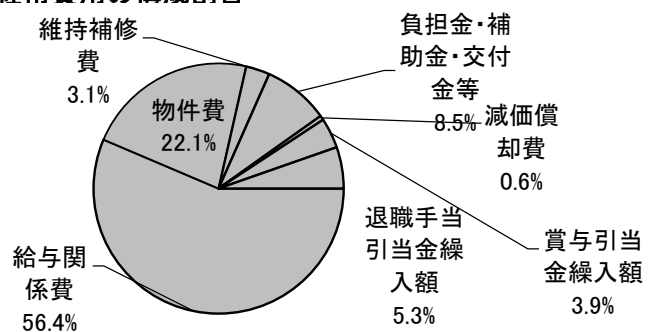
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	会計年度任用等	特別職非常勤	合計(千円)
	月平均	年間従事延日数	年間従事延日数	
	12.29人	518日	0日	117,124
給与関係費等	109,914千円	7,210千円	0千円	
内、時間外勤務手当	5,940千円			

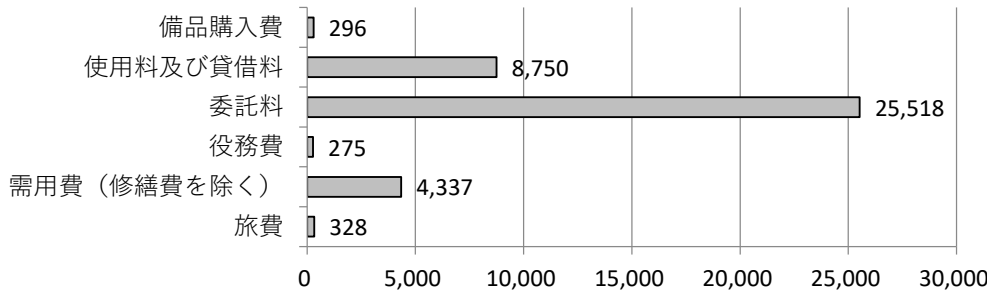
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	情報発信プラザ(Inforestすいた)内の工作物の減価償却による1,032千円の減
無形固定資産	すいたんに係る著作権

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市情報発信プラザ
取得年月日	平成27年10月1日
建物・工作物の取得価額	10,322千円
建物・工作物の減価償却累計額	6,623千円
利用料金収入	-千円

▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			差 B-A
		令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	
施設維持補修費比率		0.4	0.2	53.3	53.1
施設老朽化比率		44.2	54.2	64.2	10.0
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		98.4	98.7	95.4	△3.3
経常費用対公共資産比率		2013.1	1443.4	1728.1	284.7

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.6%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

主な経常費用は、給与関係費100,600千円(56.4%)、物件費39,504千円(22.1%)で経常費用全体における給与関係費が56.4%と高い割合を占めています。本事業は職員による発案、検討による企画の実施や情報収集、調整等の積み重ねで事業を進めている他、2025大阪・関西万博を活用したシティプロモーションを展開していくことを見据えて、情報収集や自治体・市内外団体の動向調査、庁内調整を行い、来たる好機に備えつつ、万博全体の機運醸成にも協力しているため、給与関係費の割合が高くなるものです。
各大学との連携事業については、職員が各大学との連絡・調整や大学連携推進協議会等の開催に係る事務処理を行っています。
また、物件費の内訳としては、委託料が64.6%を占めており、業務委託も活用しながら効果的な事業運営を実施します。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

SNSによる情報発信については、効果的な投稿手法を研究し、より一層、情報発信力の強化とフォロワー数の増加に向けた検討を行います。
また、シティプロモーショングッズは、市の魅力を知るきっかけになり、市の魅力を伝える有効な手段の一つであるため、販売物・配布物だけでなく幅広い展開を検討していきます。
令和3年度には、地域ごとの特色や市ならではの魅力の向上につながるイベントを充実させ、市民自身が作りあげ、市の魅力を多くの市民が享受できるよう、シティプロモーション促進補助金を新たに創設しイベント実施団体に補助金を交付しました。今後、イベント実施の効果等を検証していき、より市のイメージ向上につながる補助金制度としていく必要があると考えます。
吹田市情報発信プラザ(Inforestすいた)については、より効果的な都市魅力の発信のため、令和3年11月に運営委託事業者を変更し、さらに令和4年3月には施設をリニューアルしました。委託事業者の変更後、来訪者や売上額が増加してきていますが、施設ならではの更なる魅力発信のため、来訪者の心を動かす展示内容や展示方法等来訪者自らが魅力発信を行う仕掛けの構築を検討します。さらに、Inforestすいた公式LINE等を活用し、実際に市内各所に足を運んでいただけような魅力発信もあわせて実施します。
すいたフェスタについては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を図りつつ開催するには対策費用が増加するとともに経済状況の悪化により協賛金が減少することから、収入に合わせた開催規模の検討などを行う必要があります。また、事務局業務について効率的な運営に取り組めます。
各大学との連携については、大学ごとの特色を生かした問題解決型授業等を実施する他、大学が持つ専門性を活かした連携が促進されるように、大学連携推進協議会等の場を用いた協議や市と大学の双方から連携希望案件の情報提供を行う仕組みを構築し取り組んでいます。
2025大阪・関西万博開催を好機と捉え、更なる魅力発信のため、市民を巻き込んだ魅力発信手法や効果的なシティプロモーションの展開に係る企画のあり方を検討し、その着実な実行のためには大阪府・市万博推進局をはじめとする市内外の団体との連携も不可欠となります。